

# 剣風



事務局 〒330-0074  
さいたま市浦和区北浦和5-6-5  
浦和合同庁舎 4階  
Tel (048)834-8869



埼剣連 HP ▶

第25号 令和8(2026)年3月1日発行

(題字 元会長 野澤 治雄)

## 私と剣道



高校剣道連盟 渡會 愛梨

昨年7月に行われました、全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会で埼玉県が優勝できたことを、心から誇りに思います。この結果は、埼剣連の先生方をはじめ、応援してくださったすべての方々、そして何よりも家族の支えがあってこそ実現できたものだと感じています。また、最高の仲間と試合に臨めたことが楽しい大会でした。

長きに渡り剣道と関わってきた私ですが、剣道を始めたのは小学2年生の頃です。山形県に生まれ、父が剣道経験者であり、兄も剣道をしており、その兄が通う道場に自然と足を運ぶうちに、気づけば私も竹刀を握っていました。背は高かったものの、最初は恥ずかしさから声も小さく、掛け声は蚊の鳴くようなものでした。けれど、試合になると「負けたくない」「誰よりも強くありたい」という思いが胸の奥からあふれ出し、心の奥底に燃える闘志を感じていました。小学校、中学校と県大会で優勝は経験したものの、全国に出場すれば一回戦で敗退してしまうような選手でした。その後、高校は山形県にあります、剣道の名門と呼ばれていた左沢高校に進学しました。親元を離れ、仲間や監督と寝食を共にしながら、日本一を目指す厳しい日々。親への感謝や家族の応援を力に変え、結果で恩返しをしたいと強く願っていました。しかし、どんなに竹刀を振っても、どれだけ走り込んでも、勝利に結びつかないことがありました。そんな時、監督からいただいた言葉が今でも心に残っています。

「我武者羅にやることは無心の一本に繋がる。だけど、我武者羅にやっても一本にはならない。」

ただ我武者羅に練習するだけではだめだと、その時に気づきました。行動を考え、工夫し、自分と向き合わなければ、一本にはならない。その言葉を胸に、私は稽古の質を変え、自分の剣道を見つめ直しました。その結果、高校3年生で個人全国優勝、団体では3位を勝ち取ることができました。その後は筑波大学に入学し、多くの仲間と切磋琢磨し、何度も頂点を味わえたことは今でも大きな誇りです。

今は母となり、かつてのように毎日稽古に打ち込むことはできません。三姉妹の長女(10)、次女(8)も剣道をはじめ、娘たちの応援・サポートがとても楽しい日々が変わっております。そして何より、一年に数回しかない試合場に立つ私の姿を見て、娘たちが「お母さんみたいになりたい」と言ってくれること。その言葉は、どんな勝利よりも大きな喜びです。

昔は「負けたくない」という気持ちが私を突き動かしていました。しかし今では、「勝って、家族の笑顔が見たい」という思いが私の力になっています。誰かのために勝負する。勝って、応援してくれる人に喜んでもらう。その幸せを胸に、これからも剣道に挑み続けたいと思います。

## 剣道八段昇段にあたって

高校剣道連盟 三谷 豪秀



この度令和7年8月9日名古屋で行われました剣道八段審査会におきまして、合格させていただきました。これもひとえに埼玉県剣道連盟の先生方、ならびに多くの剣友の皆様に稽古をお願いし、ご教授を賜りましたことによることと深く感謝する次第です。

審査を受審し始めて17年、受審回数は30回を超えていると思います。初めの頃は合格する気がせず、東京審査のみの受審にしていました。5年ほど過ぎたころ1次合格したことで可能性が見え、真剣に取り組むようになりました。しかし、1次合格も10回を超えてしまい、心も折れそうで、いつ辞めようかという気持ちと、もう少しだからと思う気持ちがいづも頭のなかで交錯していました。これまでの審査では、合格したいという意識ばかりが先行し、欲ばかりが出ている動きだったような気がします。

近年の審査でも「またダメか」と頭の片隅にありましたが、今回はそんなことは考えず合格も不合格も気にせず、立ち合いを全力でやることのみを意識し、受審しました。なぜか心をうまくコントロールすることができ、待機中も全く緊張することもなく臨めました。立ち合いでは自分が攻めていることのみ感じながら、すべての技は自然に出た感じでした。内容は一次、二次ともにほとんど覚えていない状態で、無心で立ち合えたと感じました。

良く稽古する剣友が動画を撮っていてくれ、確認したところ、相手の起こりを捉えた絶妙な打突でした。自分にも出来たという実感がわきました。発表時、自分の番号があったことに胸が熱くなるのと、身が引き締まる思いが同時に押し寄せてきたことを覚えています。

今後はさらに精進し剣技を磨き、剣道の発展、普及にも心がけていきたいと思います。これからもご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

## 第52回全日本杖道大会報告

公益財団法人埼玉県剣道連盟杖道部長 瀧澤 利行

令和7年10月19日（日）に全日本剣道連盟主催、埼玉県剣道連盟主管による第52回全日本杖道大会が、埼玉県上尾市の埼玉県立武道館（リプロ武道館）において盛会裡に挙行されました。主催者である全日本剣道連盟からは中谷行道副会長、蒔田実副会長、黒郷源慈審議員、森本訓史杖道委員長、主管の埼玉県剣道連盟からは栗原憲一会長、増田吉男専務理事、渡邊秀樹事務局長に出席いただき、杖道部の部員58名が運営に携わりました。参加選手数は507名、個人演武参加者86名（一部大会選手と重複）、審判団及び運営係員、当日見学者等を含めると680名を越す盛況でした。

全日本杖道大会では、打太刀・仕杖一組となり、4会場同時に試合進行がなされます。仕・打の交代により計6本の全日本剣道連盟杖道の形を演武し、その心技体を3名の審判が試合審判規則にもとづき総合的に勝敗を判定します。令和7年に入ってからほぼ毎月模擬大会や運営の実地訓練を行い、臨場感と高揚感をもって当日に臨めるように部員全体が協力体制を布きました。杖道部会の先生方には、長期間にわたってご努力いただいたことに、部を預かる者として心より感謝いたします。

各段の結果については四段から七段までの各段で北海道組が優勝の栄冠を勝ち取り、埼玉勢の上位入賞は叶いませんでしたが、次年を期して尚武に勤しんでまいりたいと思います。

全力を尽くされた選手、演武者、運営関係者の各位に心からお礼申し上げ、報告といたします。

## ウルグアイの剣士

元ウルグアイJICAシニアボランティア 熊谷剣道連盟 佐藤 武彦



私は、2023年秋から2025年初夏まで、南米『ウルグアイ東方共和国 (República Oriental del Uruguay)』でJICAシニアボランティア活動として剣道の指導・支援を行いました。ウルグアイは、南米の大国、アルゼンチンとブラジルに挟まれた小国（人口約340万人・面積は日本の約半分）です。日本から飛行機（2回乗り継ぎ）で3日かかります。とても遠い国、のんびりした性格でおおらかな国民性を持ちます。そこで日本の身体文化である剣道、居合道、杖道が好きで稽古している人々がいます。



ウルグアイの剣道はブラジルの剣道経験者が20年前に剣道を広めたことが始まりです。コロナ禍を経て、最近では益々「武道」に関心が高く、これは、日本の漫画や映画の影響もあり「ドラゴンボール」や「鬼滅の刃」などは大人でも大人気です。2025年夏からは、南米では初めてと思いますが、ウルグアイの国立共和国大学で「武道」の授業が開始され多くの学生が剣道をはじめ、いろいろな武道を経験しています。

そんな彼らは2024年7月にイタリアで開催された第19回世界剣道選手権大会に初参加しました。結果は予選リーグ全敗でした。それでも彼らは落ち込むことなく、優勝国日本の「力強く美しい剣道」に感動し、ヨーロッパ勢にはまだまだ及ばない力の差を冷静に認め、次のステップへと歩み始めています。同大会の経験で、日本に対するあこがれや武道の持つ精神性を大事に、益々尊敬することとなりました。

次回、第20回世界剣道選手権大会が2027年5月東京で開催予定です。日本からとても遠い国の剣士が次の大会に向けて日々稽古しています。しかし、コンクリートの上に板を敷いただけの床が固くて狭い恵まれない稽古場所、簡単に買えない防具・稽古着、特に国外大会参加の旅費など、まだまだ多くの問題を抱えています。ですが、彼らは熱意と柔軟な考えで同大会に挑んでくるでしょう。ぜひ、ウルグアイの剣士及び南米の剣士達を同大会で見かけましたら声援（「アニモ」※スペイン語で「頑張れ」）をお願いいたします。そして、いつの日か「ウルグアイの剣士」と機会があれば稽古を心からお願いいたします。彼らは武道のもつ「無形の価値」を探求しています。

おわりに、多くの防具、稽古着を送っていただいた熊谷剣道連盟、埼玉大学剣道部関係者の皆様、剣道指導に対して多くの助言をいただいた神山芳男先生、金田孝行先生。さらに居合道久喜支部の鈴木信夫先生、青木四郎先生、久喜杖道会の齋藤力夫先生、野口京子先生を始め多くの先生に御指導・御支援していただきました。ウルグアイの剣士はこのご恩を忘れません。そして私がウルグアイで活動するにあたり、背中を押してくれた恩師塩入宏行先生、大保木輝雄先生、本当にありがとうございました。



## 「私の修業時代」

剣道教士八段 神山 芳男



私の剣道技倆の向上には二つの節目があります。

昭和29年地域の剣道有志(3・4段)が剣道を再開するにあたり、子供たちに剣道を教えようと声がかかり、小学5年生で初めて竹刀を握り剣道に触れました。基本もなくただ打ち合うだけの稽古で、埼玉県警察に奉職し剣道を継続することが出来ましたが粗雑なままの剣道でした。当時の警察の師範である剣道八段勝谷春助先生(後に範士受領)等にかむしゃらに掛かって行きご指導を頂きました。

始めの節目は大阪府警察への長期派遣による大阪城敷地内の修道館道場の稽古です。大阪府警の稽古は、3・4人一組の切り返し・打ち込み等で30分、基本稽古30分、その後先生方の元立ち指導稽古1時間のパターンをいろいろ組み合わせての稽古でした。

時により、修道館の柔道場の畳があげられ端から端(56m)までの連続の切り返し・打ち込みは非常に辛いものでした。また、派遣の年により修道館の朝稽古、大阪府警の午前・午後、夜の修道館の稽古と1日4回の稽古で、帰りは足がふらつき夢遊病者の状態でした。その基本稽古等は埼玉県警察や地域の稽古処で取り入れられ、埼玉県内の剣道技倆向上に貢献しています。

二つ目の節目は試合剣道から八段審査受審に向けての稽古です。

八段審査に一次審査は何回も合格したが、最終審査の合格はできなかった、受審する中で当務(当番・非番・休み)勤務体制となり、非番や休日に稽古に参加しても気力が集中せず何か打ちがしっかりできない状態でした。それでも浦和の県立武道館や各地の稽古処の先生方にご指導を頂きにお伺いしました。休日には朝六時に家を出て警視庁のご指導も頂きに行きました。

ある時、小野派一刀流の稽古を頂く機会ができご指導を受けることが出来ました。一刀流の切り落としにより、徐々に集中力が身についたように感じて、最終の審査に合格することが出来ました。道のりは長かったですが、一次審査に合格するのだから絶対に二次審査に合格しようと稽古を続けた結果です。

剣道は到達するところはありません、これからも正しく剣道を学び、更に更に奥に向かって修業に励んで行きたいと思います。

### 「私の修業時代」バックナンバー

No.	執筆者	発行番号
1	埼玉県剣道連盟副会長 剣道範士八段 根岸 一雄 先生	2号 H24.6.29
2	剣道教士八段 佐藤 安治 先生	4号 H25.6.28
3	剣道教士八段 加治屋 速人 先生	6号 H26.6.19
4	居合道範士八段 渡辺 秀雄 先生	9号 H27.11.30
5	剣道教士八段 向田 信行 先生	21号 R6.3.31
6	剣道教士八段 島田 浩徳 先生	23号 R7.3.1
7	剣道教士八段 加庭 栄之助 先生	24号 R7.9.1

第50回埼玉県 四地区対抗親睦剣道大会 優勝（西部地区） 令和7年8月17日 大宮武道館



本大会に向けて、毎月の合同稽古会など各支部内の選手と稽古を重ねた結果、二連覇をすることができました。ご指導をいただきました為谷西部地区会長及び選手の皆様へ心より感謝申し上げます。

監督 伊藤 博（東入間剣道連盟）

第42回全国道場少年剣道選手権大会 小学生 女子個人優勝 令和7年10月19日 鹿児島県



優勝することが出来たのは、ご指導してくれた先生方、仲間、周りで支えてくれた皆様のおかげです。感謝の気持ちを忘れずに、これからも一生懸命稽古に励みます。

小葉 美心(6年・四誠館)

第73回全国青年大会 男子団体 優勝 令和7年11月8日 東京武道館



「埼玉県の底力を発揮！」

「個々の選手が大将までバトンを繋ぐ」という合言葉で熱戦を制し、見事初優勝に輝きました。これも埼剣連会長をはじめ、ご家族、剣友の皆様方からエールを頂いたお陰と感謝申し上げます。

監督 島田 浩徳

ねんりんピックリハーサル大会優勝 秩父剣道連盟 令和7年11月9日 行田グリーンアリーナ



ねんりんピックリハーサル大会はこれまで県内にない形式の高齢者大会で、剣友も数多く和気藹々の中にも緊張感のある大会でした。我々、秩父チームは幸運にも優勝することができ、良い思い出となりました。

秩父剣道連盟 小島 光正

第2回全日本選抜女子剣道七段優勝大会 準優勝 令和7年12月14日 山梨県甲府市



素晴らしい選手が多く出場するなか、準優勝することが出来ました。ありがとうございました。これからも頑張りますのでご指導よろしくお願いいたします。

警察剣道連盟 村山 千夏

# 生涯剣道人を訪ねて

東松山剣道連盟 渡辺 秀男



**Q 1** いつ頃、何歳から剣道を始められましたか

A 1 昭和29年、小学4年生の時に初めて竹刀を握りました。

**Q 2** 剣道を始めたきっかけは何ですか

A 2 私は千葉県安房郡（現在の南房総市）富浦町生まれで1学年1クラスの小さな小学校にかよっていました。小学校4年生の時、教頭として転任してこられた青木先生が剣道をやっておられて、小学4年生以上で剣道をやりたい人は集まれと号令をかけ校庭に集合させられました。20名位集まったように記憶していますがその校庭で教頭先生の指導を受けるようになりました。

**Q 3** 剣道を長年続けられている秘訣は何ですか

A 3 剣道が好きだからです。また、剣道仲間に恵まれ剣道を楽しみながらできるからです。

**Q 4** 稽古は週何日くらいされていますか

A 4 週2～3回おこなっております。吉見町の稽古会、川島町の稽古会、神山先生の剣道教室等に参加しています。その他に埼玉高齢剣友会の稽古会に月1で参加しています。

**Q 5** 稽古で気を付けておられることは何ですか

A 5 仕事の関係で横浜から埼玉県の工場に転勤となり、吉見町に移住しました。初めて参加した吉見町の稽古会でアキレス腱を切り稽古仲間に迷惑をかけてしまったので、稽古中に怪我をしないよう稽古前の準備体操はしっかりとこなっています。

**Q 6** 今まで剣道に関わりの中で良い思い出はなんですか

A 6 高齢者の仲間入りをしてから高齢者の剣道大会に多く参加するようになりました。県内だけでなく宮城県、福島県、山形県、神奈川県の大大会、そして全日本の大会等に参加して成績をあげ試合を楽しむことができたことが良き思い出となりました。特に昨年の6月にあった全日本高齢者武道大会寿B（80～84歳）での優勝、内閣総理大臣賞の受賞は一生忘れることはない思い出です。

**Q 7** 好きな言葉（座右の銘）、好きな食べ物は何ですか

A 7 好きな言葉は「交剣知愛」、高齢者の仲間入りをして他県の大大会に参加するようになってから他県の剣道仲間が増え、その人たちと年数回の交流でお互いの健康を確認しあうと共に稽古をして楽しい時間を過ごすようになり、交剣知愛という言葉をしみじみ噛みしめています。  
好きな食べ物はすしです。小さい時から新鮮な魚を食べていたので自然に寿司好きになりました。

**Q 8** その他

A 8 私は前述したように35歳の時左足のアキレス腱を切断しました。この時は十数年ぶりの稽古であったことと準備運動もおざなりで稽古を始めたために切断したと判断して、1年後、十分に準備運動をして稽古に臨んだのですが今度は右足のアキレス腱を切断してしまいました。剣道仲間に迷惑をかけたのはもちろんですが会社にも長期間の休みで迷惑をかけてしまいました。このまま剣道続けるわけにはいかないかと剣道から離れることも考えたのですが、その当時、吉見町の剣道教室は指導者不足だったので稽古はできなくても子供たちの指導をと慰留され続けることにしました。稽古は7年後くらいに再開しました。  
こうして80歳を過ぎても稽古をつづけられるとは60代のころまでは思ってもいませんでした。稽古を続けていられるのは剣道仲間に恵まれたためと感謝しています。今後も体が動くうちは皆に迷惑をかけないように続けるつもりです。

# 令和7年大会記録 (7月～12月)

## —全国大会—

- 第42回全国道場少年剣道選手権大会  
(R7.10.19)  
小学生女子 優勝 小葉 美心(四誠館)
- 第64回全日本女子剣道選手権大会  
(R7.11.3)  
小川 梨々香(東松山) ベスト8
- 第73回全日本剣道選手権大会  
(R7.11.3)  
伊藤 勇太(警察) ベスト8
- 第72回全国青年剣道大会  
(R7.11.8～9)  
男子団体 優勝  
女子団体 第3位  
女子個人 第2位 星野 絢音(久喜)

## —関東大会—

- 第75回日光剣道大会  
(R7.8.18)  
団体 第3位
- 第50回関東中学校剣道大会  
(R7.8.8)  
団体 第2位 北本中学校
- 第79回国民スポーツ大会関東ブロック剣道競技大会  
(R7.8.23)  
成年女子 第1位

## —全国大会予選—

- 第20回全日本都道府県対抗剣道少年優勝大会予選  
(R7.7.12)  
・代表選手  
大澤 健吾(秩父)  
内田 智規(浦和)  
関根 剛士朗(北本)  
鈴木 智敬(川口)  
小葉 美心(川口)
- 第29回埼玉県女子剣道選手権大会兼第64回全日本女子剣道選手権大会予選会  
(R7.8.11)  
1位 小川梨々香(東松山) 全日本出場  
2位 中村 日南(東松山) 全日本出場  
3位 志藤 綾子(東松山) 全日本出場  
3位 村山 千夏(警察)
- 令和7年度埼玉県剣道選手権大会兼第73回全日本剣道選手権大会予選会  
(R7.8.11)  
1位 伊藤 勇太(警察) 全日本出場  
2位 橋本 圭一(東松山) 全日本出場  
3位 精松 慎治(警察) 全日本出場  
3位 貝塚 脩悟(高校)

## —県内大会—

- 第13回埼玉県杖道大会  
(R7.8.10)  
基本の部 1位 横堀 恵太(所沢杖友会)  
二段の部 1位 若林 幸子(久喜杖道会)  
三段の部 1位 石灰 克之(浦和杖道会)  
四段の部 1位 飯田 篤功(彩杖会)  
五段の部 1位 畑山 良一(大宮杖道会)  
団体 1位 浦和杖道会
- 第50回埼玉県4地区対抗親睦剣道大会  
(R7.8.17)  
1位 西部地区  
2位 南部地区  
3位 東部地区  
4位 北部地区
- 第23回埼玉県剣道大会  
(R7.11.2)  
・小学生の部 個人戦  
3年生以下の部  
1位 爲谷 元飛(久喜)  
2位 大畑 諒真(北本)  
3位 尾形 颯太(越谷)  
3位 千島聡志郎(北本)  
4年生の部  
1位 白井 滉大(浦和)  
2位 木野内慶介(鴻巣)  
3位 武井瑛一朗(越谷)  
3位 千島浩志郎(北本)  
5年生の部  
1位 録澤 奏佑(北本)  
2位 若林 陽(西入間)  
3位 今濱 立葵(越谷)  
3位 橋本 翼(川口)  
6年生の部  
1位 関根剛士朗(北本)  
2位 大高 縁士(越谷)  
3位 小林 優菜(北本)  
3位 木野内 蒼介(鴻巣)  
・団体戦  
1位 川口  
2位 川越  
3位 越谷  
3位 久喜
- 全国健康福祉祭剣道交流リハーサル大会  
(R7.11.9)  
1位 秩父剣道連盟  
2位 越谷剣道連盟  
3位 大宮剣道連盟  
3位 川越剣道連盟
- 令和7年度 第63回埼玉県中学校剣道新人大会  
(R7.11.12)  
・男子団体戦

- 1位 城北埼玉中
- 2位 北本中
- 3位 大沼中
- 3位 幸並中
- ・女子団体戦  
1位 朝霞第3中  
2位 本庄第1中  
3位 北本中  
3位 大沼中
- 第47回埼玉県剣道大会  
(R7.11.13)  
・中学生の部(男子)  
1位 福島 誓(川越初雁中)  
2位 石黒 碧(妻沼東中)  
3位 松井 佑心(大沼中)  
3位 山本 大暉(新座第二中)  
・中学生の部(女子)  
1位 二上 栞奈(朝霞第三中)  
2位 今濱夕輝乃(大沼中)  
3位 瀧川梨々香(大沼中)  
3位 市川 奏心(鳩山中)
- 第70回埼玉県剣道大会  
(R6.11.18)  
・高校の部(男子)  
1位 北脇 大翔(山村学園)  
2位 山崎 貫太(山村学園)  
3位 酒井 新太(本庄第一)  
3位 吉野 一真(本庄第一)  
・高校の部(女子)  
1位 江田 彩春(星野)  
2位 浦野 葵衣(星野)  
3位 矢島小夜子(本庄第一)  
3位 西城 心瑛(山村学園)
- 佐藤義則先生 田中宏明先生剣道範士受称記念  
第70回埼玉県剣道大会一般の部  
(R7.11.23)  
・女子の部  
1位 加藤 順子(北本)  
2位 河村 真保(川口)  
3位 佐藤なるみ(浦和)  
3位 新井 華子(所沢)  
・男子初～4段の部  
1位 但馬圭太郎(警察)  
2位 京田 貫太(東松山)  
3位 新井 海渡(東入間)  
3位 前田 航輝(東松山)  
・男子5・6・7段の部  
1位 渡辺 悠斗(警察)  
2位 八木 翔太(警察)  
3位 堀口 健(警察)  
3位 生沼 新(警察)

## 称号・段位取得者一覧 (令和7年8月～令和8年1月)

称号	落合 洋司(大宮)	七段(愛知)	播磨 進(浦和)	五段	七段
<b>剣道 錬士</b>	國定 弘行(大宮)	令和7年11月8日	中島 悠太(浦和)	令和7年11月15日	令和7年10月25日
笹部 重雄(越谷)	池上八重子(上尾)	浦木祐一郎(吉川)	白石 剣(浦和)	ぐるる宮代	リプロ武道館
瀬下三樹雄(吉川)	茂木 英郎(上尾)		金澤 紗瑛(浦和)	島田 道夫(久喜)	伊藤 貴広
西野 廣幸(吉川)	山下 未来(本庄)		田原 省三(大宮)	田口 岩三(春日部)	深田 武夫
清水 美砂(春日部)	谷川 裕保(警察)	<b>七段(東京)</b>	宮本 和彦(大宮)	廣瀬 達志(本庄)	出口 正人
松尾 教徳(幸手)	平野伸一郎(警察)	令和7年11月14日	伊藤 卯美(大宮)	鍛冶 美則(草加)	小西 亮
大崎 昭彦(所沢)	石塚 弘行(警察)	管 聰(草加)	鷲崎 安久(大宮)	古田 卓也(北本)	
都築 透(所沢)	高橋 昌士(警察)	中島 勝男(越谷)	中島 徹朗(大宮)	齊田 和之(狭山)	
佐藤 恵(所沢)		小島 貴裕(越谷)	柴田 海(上尾)	小林 誠吾(大宮)	
亀川 文子(東入間)	<b>居合道 教士</b>	緑川 勝洋(杉戸)	高木 信次(深谷)	金田 絵里(上尾)	
阿部千鶴子(川越)	青木 四郎	藤間佳津馬(久喜)	新井 清(秩父)	竹村 郁(大宮)	
熊谷 嘉弘(川越)		河原木 豊(行田)	片山 泰視(警察)	村田 直美(幸手)	
齋藤 達典(小川)	<b>居合道 錬士</b>	末木 健之(所沢)	竹内慎太郎(警察)	宮野 秀昭(警察)	
藤巻 俊輔(飯能)	中島祐規子	小池 哲志(東入間)	田中 和弥(高校)	Sorin PIENARU(国際)	
根岸 和宏(小川)	反町 俊一	新井 敏彦(川越)		石原 千宏(川口)	
古屋三奈子(小川)	坂本 嘉久	川津 雅勝(川越)	<b>四段</b>	井上 義規(朝霞)	
齋藤登美夫(小川)		宮崎 信子(西入間)	令和7年11月15日	中野 一輝(小川)	<b>五段</b>
関口 浩幸(小川)	<b>杖道 錬士</b>	高見 敏(西入間)	ぐるる宮代	川島寛一朗(幸手)	令和7年10月13日
二口 幸市(川口)	柏倉 有	磯辺 清(西入間)	綿引 利夫(浦和)	竹川 健太(川越)	吉見町民体育館
柳田 幸恵(川口)	山我里予子	染野 大介(東松山)	居原上直登(川越)	江角 英李(川口)	都丸 琳子
峯口 智美(川口)		関口 浩幸(小川)	市原 実香(東入間)	佐藤 健太(寄居)	阿久澤 和紘
田中 一志(川口)	<b>剣道</b>	星川奈穂美(川口)	高附 康文(上尾)	天野 将太(越谷)	Arshia Hematpoor
後藤 寛(戸田)	<b>八段(愛知)</b>	池澤 達弘(蕨)	花岡 博(浦和)	港 隆之(川越)	佐藤 豪
田中 眞一(戸田)	令和7年8月9日	渡部 孝雄(浦和)	横須加葉月(久喜)	大熊 勇矢(川口)	澤 茂
川上 順子(戸田)	三谷 豪秀(高校)	山下 昇(大宮)	高橋 義人(加須)	突元 太郎(春日部)	藤田 啓一
山本 孝(朝霞)		奈須川伸一(大宮)	遠藤 美絵(吉川)	大橋 佑允(本庄)	岡田 和雄
鈴木 孝昌(朝霞)	<b>七段(宮城)</b>	茂木 宏行(上尾)	柳田 充規(警察)	室岡 慶彦(高校)	松井 明男
江原 滋(朝霞)	令和7年8月30日	橋本 剛(熊谷)	柳澤 大介(大宮)	杼原 大貴(狭山)	水森 功博
高木 政樹(朝霞)	末田久美人(草加)	新明 一夫(本庄)	鍋 卓哲(久喜)	佐藤 雅直(上尾)	福井 清正
小代 文昭(朝霞)	河股 伸行(越谷)	海保 徹(警察)	宮路 真宏(入間)	入内島大裕(吉川)	高橋 利行
柴田 良紀(朝霞)	松本 茂(越谷)	森田 一成(高校)	岡田 高志(上尾)	稲葉 栞(警察)	
早川 尚志(浦和)	真崎 繁美(行田)	金野 裕二(高校)	臺 和也(加須)	宮城 光輝(北本)	<b>六段</b>
横田 博(浦和)	森 雄哉(所沢)		富山 優一(大宮)	内田 峻介(浦和)	令和7年11月30日
羽鳥翔太郎(浦和)	金子 大介(川越)	<b>六段(愛知)</b>	平川 茉紘(川越)	大橋 拓真(所沢)	江戸川区スポーツセン
越田 純也(浦和)	赤澤 豊彦(川越)	令和7年11月9日	小出 宏伸(朝霞)	木村啓二郎(警察)	ター
桑野 眞一(大宮)	武田 忠利(蕨)	関谷 正文(高校)	河内 優也(春日部)	渡邊 裕馬(大宮)	大滝 成
小此木裕二(大宮)	安田 武史(朝霞)	<b>六段(東京)</b>	山下 樹(警察)	大澤 太陽(鴻巣)	森本 千晴
水谷 泰介(大宮)	根本 光造(朝霞)	令和7年11月15日	長澤 良太(大宮)	狩野 泰征(大宮)	宮崎 いづみ
渡邊 美和(熊谷)	大地恒一郎(浦和)	荒井 一郎(春日部)	梅田 勇助(大宮)	都丸 琳子(浦和)	宮崎 富裕
荻野 浩和(熊谷)	長野 良昭(浦和)	金子 昇(久喜)	斉藤 彩夏(本庄)		星野 繁実
嶋崎 正博(寄居)	漆畑 昇(大宮)	赤木 義隆(所沢)	齋藤 康成(大宮)		澤目 秀一
楢松 慎治(警察)	岡田 光弘(上尾)	松島 隆大(東入間)	牧戸 蓮(越谷)	<b>杖道</b>	鈴木 襄
	柏葉 靖夫(秩父)	澤田 岳司(東入間)	浦木 葵(吉川)	<b>六段(千葉)</b>	中村 重勝
		山崎 将則(東入間)	鬼丸 三冬(西入間)	令和7年8月15日	
<b>剣道 教士</b>		町田 真寿(東入間)	阿部 達樹(吉川)	杉崎かずみ	
結城 直俊(草加)	<b>六段(宮城)</b>	湯本 美紀(狭山)	會田慧以乃(浦和)	駒井 忍	<b>七段</b>
鈴木 崇仁(八潮)	令和7年8月31日	河井 信洋(狭山)	岡本 杏菜(川口)		令和7年11月30日
小宮 知幸(八潮)	青木 義之(草加)	川原田眞佐雄(川越)	坪井 愛花(蕨)	<b>六段(東京)</b>	江戸川区スポーツセン
逆井 誠(吉川)	小堀 真吾(幸手)	伊藤 英雄(飯能)	池田 光晴(吉川)	令和8年1月23日	ター
戸賀崎正彦(久喜)	本田 栄(羽生)	梶 弘幸(西入間)	木村 友風(久喜)	土門美奈子	青山 隆一
鈴木 寛俊(東入間)	伊藤 精彦(東入間)	小林 和夫(小川)	柳 菜々海(北本)		内田 雄二
菊川 隆行(東入間)	勇 博文(川越)	星川 駿人(川口)	杉山慎之助(大宮)	<b>七段(東京)</b>	加藤 勝
三戸 章義(東入間)	山田 眞也(西入間)	鈴木 智恵(川口)	河村 真保(川口)	令和8年1月23日	飯沼 憲男
新 泰幸(狭山)	小河 守(西入間)	齋藤千恵子(川口)	長谷川陽弥(大学)	中澤 彰子	須長 昇一
高木 堅志(川口)	武内 基志(西入間)	田中 明夫(川口)	齋藤 雄亮(久喜)		安澤 健則
大澤 芳昭(川口)	岡本 貴志(川口)	梅野 博(川口)	瀬尾 椿(大学)	<b>四段</b>	
鈴木 眞一(蕨)	今村 幸一(蕨)	今村 麻衣(戸田)	藤田 灯樹(大学)	令和7年10月25日	
福井 敏雄(浦和)	金子 弥生(戸田)	並木 義晃(朝霞)		リプロ武道館	
中村 太一(浦和)	小田 直城(熊谷)	掛端 勝行(朝霞)		任 紹龍	
小林 利充(大宮)	新井 義則(警察)			鈴木 良枝	

### 編集後記

埼玉県剣道連盟広報誌「剣風」を多くの会員の方に読んで頂きたいと思っております。その方策の手始めに、高体連剣道専門部・中体連剣道専門部のHPに「剣風」24号をUPして頂き、ダウンロードできるようにしてもらいました。印刷部数に限りがありますので、各加盟団体でも埼玉剣連のHPにて多くの会員の方に読んで頂けるよう周知して頂けると助かります。  
(大河原直弘)